

公共交通の利用状況

1 東浦町の公共交通

町内を運行している公共交通の路線名、経路などを概略的にまとめたものが図1の概略路線図になる。「う・ら・ら」の他に以下の公共交通が運行している。

- ① 鉄道……………2路線（町内に鉄道駅があるのはJR武豊線のみ）
- ② 知多バス（路線バス）……………2路線
- ③ 知多バス（空港バス）……………1路線
- ④ タクシー……………6事業者（知多交通圏）



図1 東浦町 概略路線図

2 町運行バス「う・ら・ら」

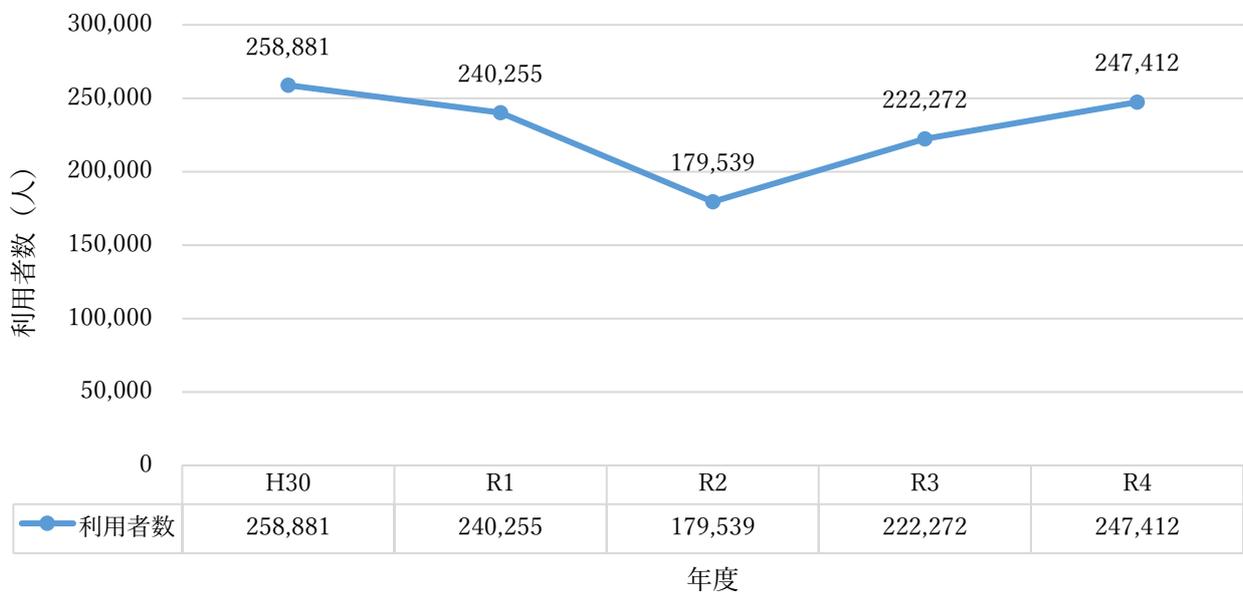
■町内移動を主に、刈谷市・大府市への移動ができ、一定量以上の移動需要に対応

町内の買い物、通院、小学校の通学の足としての役割を担っている。平成30年度から令和4年度までの町運行バス「う・ら・ら」の利用者数の年度別推移は図2、月別推移は図3のとおりである。

- ① 図2から、令和4年度 of 全路線の利用者数の計は247,412人、コロナ禍以前の平成30年度の利用者数は258,881人である。
- ② 図2から、**令和4年度と平成30年度の利用者数とで比較すると11,469人の減（5%減）**となっていることが分かる。

以上のことから、この利用者数の減少は、**令和元年10月のダイヤ改正による利用控えや、コロナ禍以降の生活様式の変容によるもの**だと考えられる。

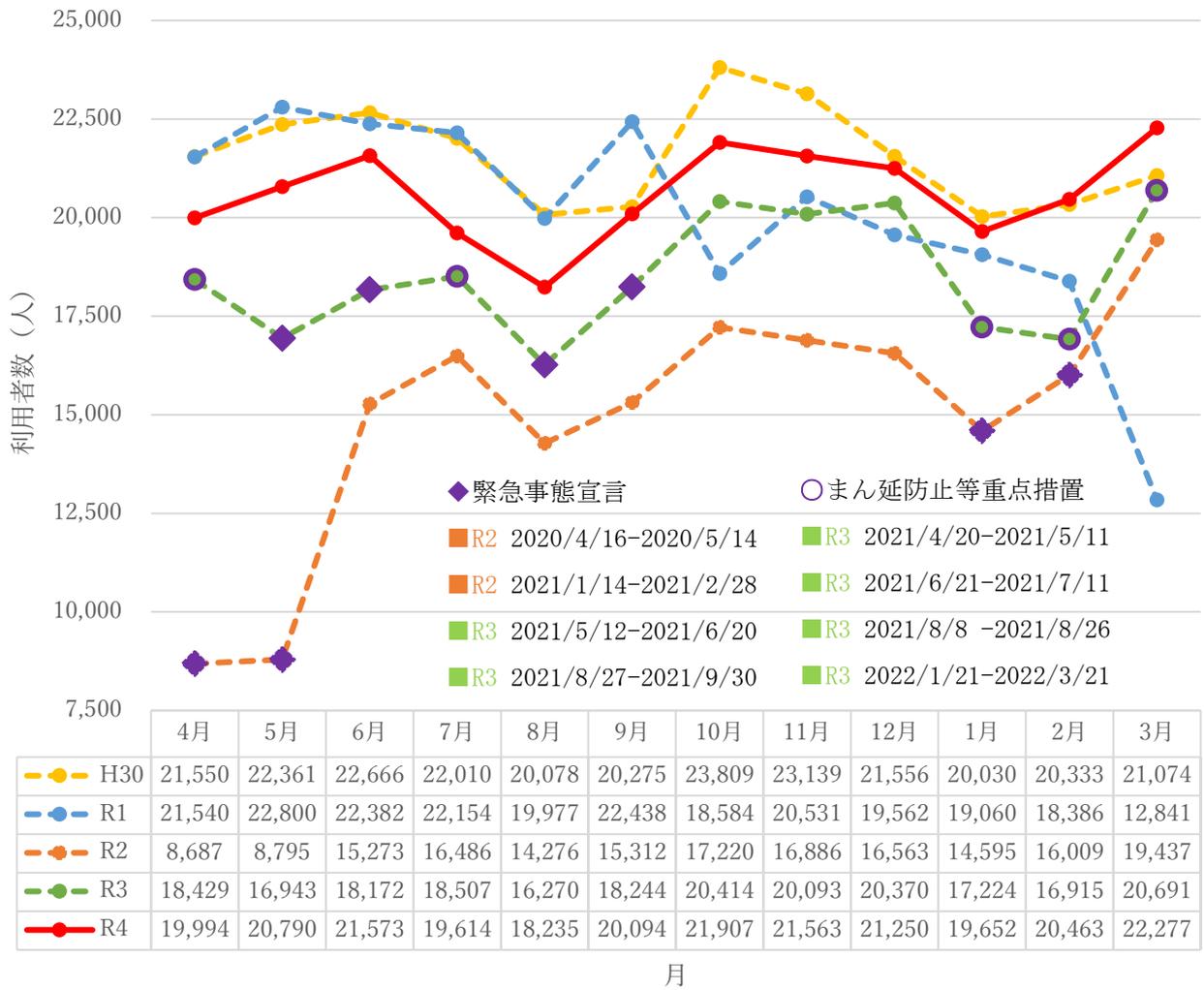
図2 「う・ら・ら」利用者数の推移（年度別）



【補足1】

- ① 令和4年度の支払い委託料は120,545,396円、収支率は12.0%、**住民1人あたりの負担額は2,393円/年（199円/月）**になる。
- ② 令和4年度の各路線の利用者数は以下のとおりである。
 - ・環状線（左回り）……………76,119人/年
 - ・環状線（右回り）……………63,944人/年
 - ・長寿線……………49,123人/年
 - ・刈谷線……………29,405人/年
 - ・東浦高校線（於大公園南経由）……………22,531人/年
 - ・東浦高校線（文化センター経由）……………11,519人/年
 - ・長寿医療研究センター直行便……………828人/年

図3 「う・ら・ら」利用者数の推移（月別）



3 鉄道

■他都市との広域移動、町内移動ができ、大量の移動需要に対応

東部に JR 武豊線、西部の町境付近に名鉄河和線が南北に通っている。平成 30 年度から令和 4 年度までの鉄道「JR 武豊線」の利用台数の推移は図 4 のとおりである。また、乗車人数のうち定期券利用者の推移は図 5 のとおりである。

(1) JR 武豊線の乗車人数の比較

- ① 図 4 から、令和 4 年度の武豊線各駅の乗車人数の計は 1,820,705 人、コロナ禍以前の平成 30 年度の乗車人数の計は 1,963,592 人であることが分かる。
- ② 図 4 から、**令和 4 年度と平成 30 年度の乗車人数の計とで比較すると 142,887 人の減（8%減）**となっていることが分かる。

(2) JR 武豊線の乗車人数（うち定期）の比較

- ① 図 5 から、**JR 武豊線の乗客は約 7 割が定期券ユーザー**であることが分かる。
- ② 図 5 から、令和 4 年度の武豊線各駅の乗車人数（うち定期）の計は 1,331,303 人、コロナ禍以前の平成 30 年度の乗車人数の計は 1,461,012 人であることが分かる。
- ③ 図 5 から、**令和 4 年度と平成 30 年度の乗車人数の計とで比較すると 129,709 人の減（9%減）**となっていることが分かる。

以上のことから、この乗車人数の減少は、コロナ禍の影響を受け、リモートワークやオンライン授業が推進されたことや、東浦高等学校の生徒数の減少（補足 2）に伴って、**定期券ユーザーが減少したことが主な要因**だと考えられる。

図 4 JR 武豊線各駅 乗車人数の推移（年度別）

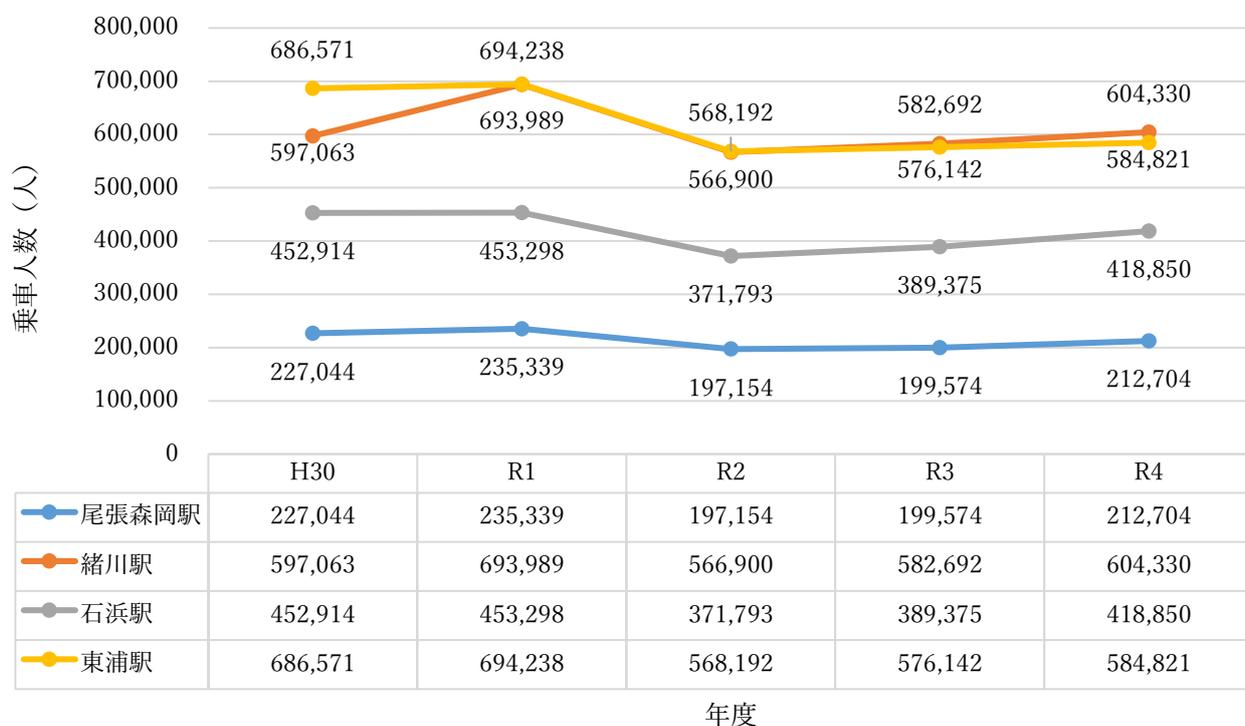
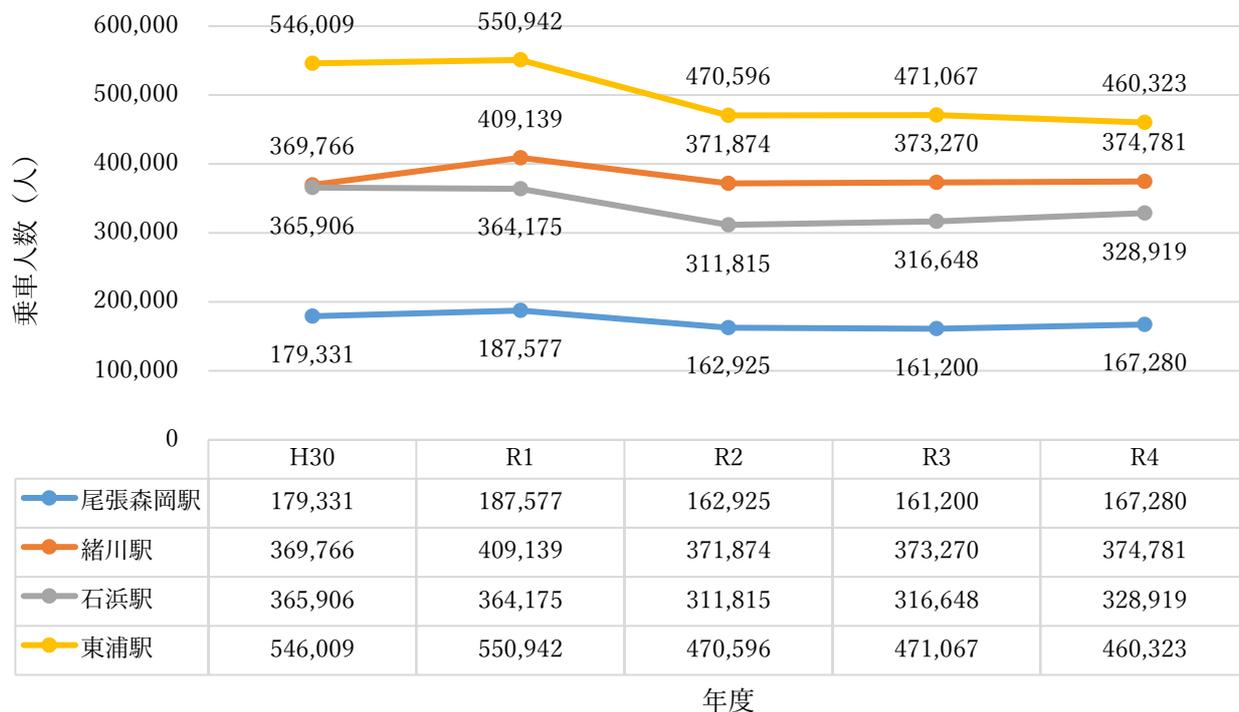


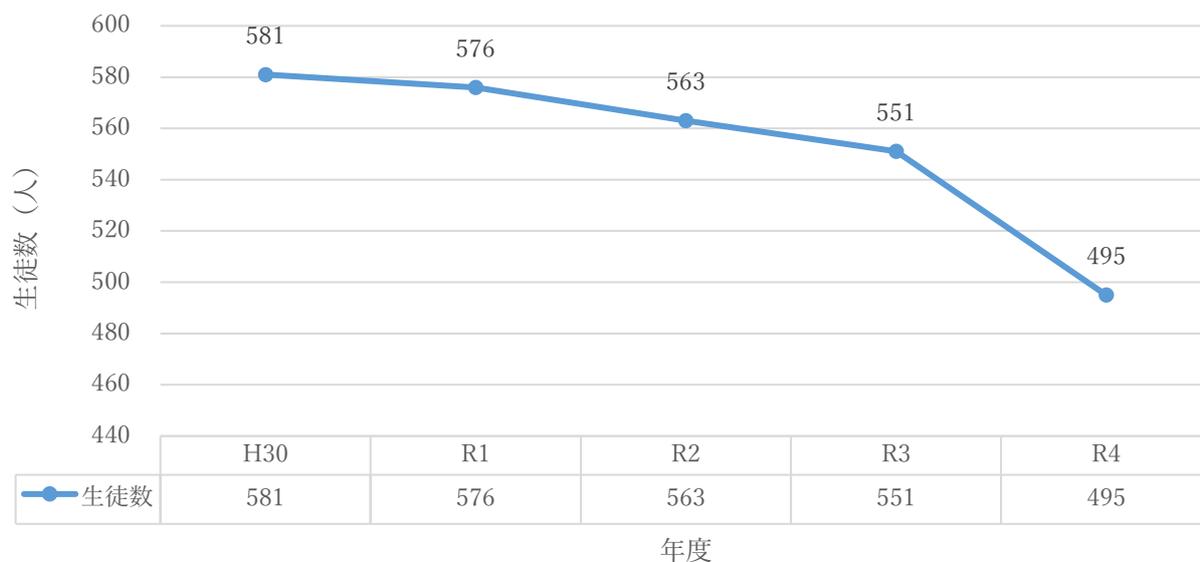
図5 JR武豊線各駅 乗車人数の推移（うち定期）



【補足2】

東浦高等学校の生徒数は、図6のとおり減少傾向にある。令和4年度の生徒数は495人で、平成30年度比で86人の減（15%減）となっている。

図6 東浦高等学校の生徒数（4月時点）



4 民間路線バス「知多バス」

■近隣市への移動、町内移動ができ、一定量以上の移動需要に対応

知多バス「大府線」は、森岡日生団地と JR 大府駅を結び、知多バス「東ヶ丘団地線」は、東ヶ丘団地から名鉄巽ヶ丘駅を結び、それぞれ通勤・通学の足を担っている。平成 30 年度から令和 4 年度までの知多バス「大府線」及び「東ヶ丘団地線」の利用者数の推移は図 7 のとおりである。

(1) 知多バス「大府線」の利用者数比較

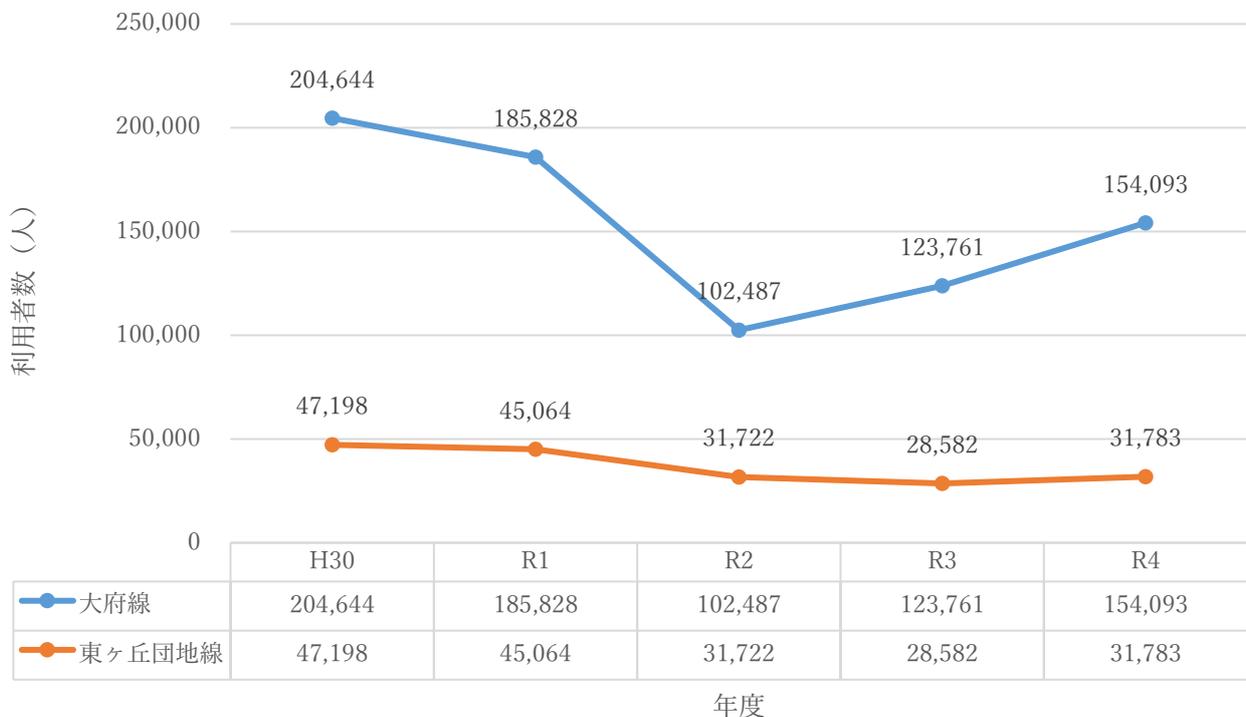
- ① 図 7 から、令和 4 年度の大府線の利用者数は 154,093 人、コロナ禍以前の平成 30 年度の利用者数は 204,644 人であることが分かる。
- ② 図 7 から、**令和 4 年度と平成 30 年度の大府線の利用者数で比較すると 50,551 人の減 (25%減)** となっていることが分かる。

(2) 知多バス「東ヶ丘団地線」の利用者数比較

- ① 図 7 から、令和 4 年度の東ヶ丘団地線の利用者数は 31,783 人、コロナ禍以前の平成 30 年度の利用者数は 47,198 人であることが分かる。
- ② 図 7 から、**令和 4 年度と平成 30 年度の東ヶ丘団地線の利用者数で比較すると 15,415 人の減 (33%減)** となっていることが分かる。

以上のことから、両路線の利用者数の減少は、コロナ禍の影響を受け、リモートワークやオンライン授業が推進されたことや、集合団地の高齢化によって**通勤・通学利用者が大きく減少したことが主な要因**だと考えられる。

図 7 知多バス「大府線」「東ヶ丘団地線」利用者数の推移（年度別）



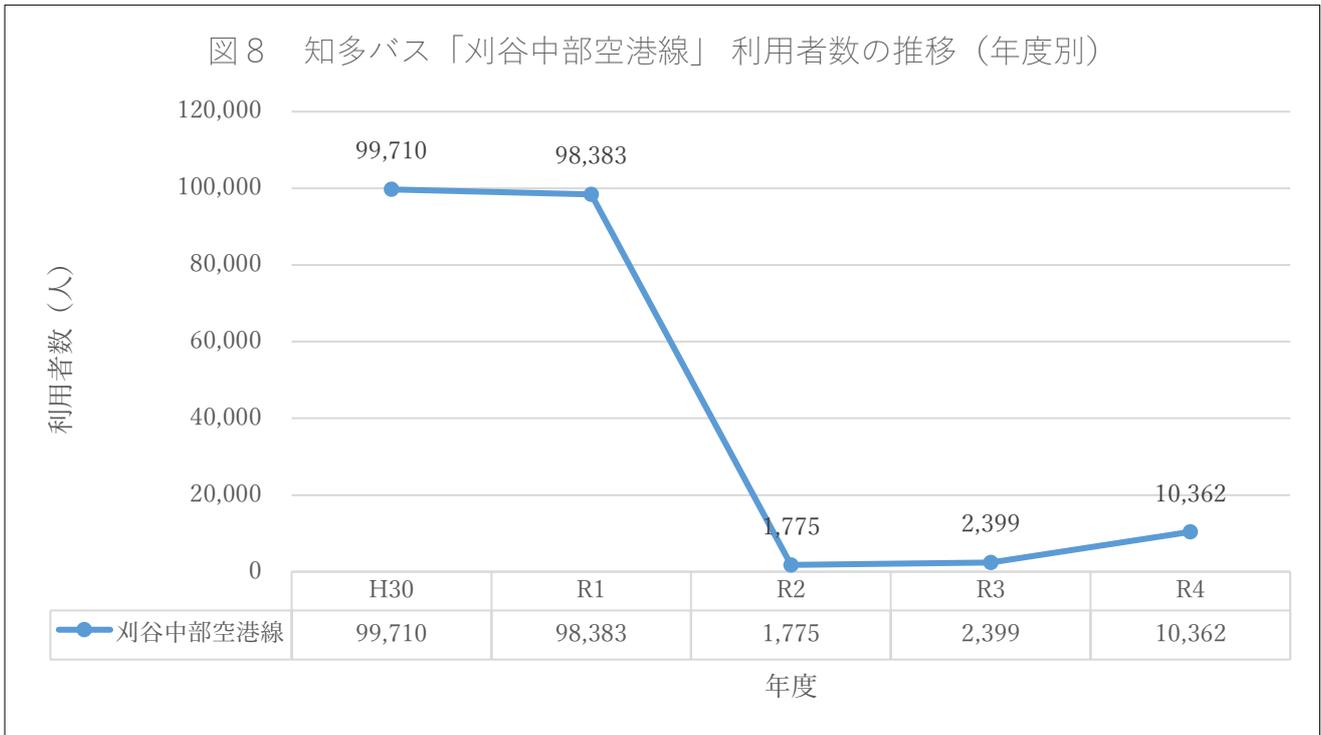
5 空港バス「知多バス」

■緒川駅から空港や近隣市（知立駅前・刈谷駅前・東陽町（刈谷市）・刈谷市駅口）までの区間利用が可能で、一定量以上の移動需要に対応

知立駅から刈谷駅や緒川駅を經由し、中部国際空港まで運行しています。平成30年度から令和4年度までの知多バス「刈谷中部空港線」の利用者数の推移は図8のとおりである。

- ① 図8から、令和4年度の刈谷中部空港線の利用者数10,362人、コロナ禍以前の平成30年度の利用者数は99,710人であることが分かる。
- ② 図8から、**令和4年度と平成30年度の利用者数で比較すると89,348人の減（90%減）**となっていることが分かる。

この利用者数の減少は、コロナ禍の影響を受け、**運行便数を減便（平成30年度：1日当たり上り13便・下り14便、令和4年度：1日当たり上り・下り4便）**したことが主な原因だと考えられる。



6 タクシー

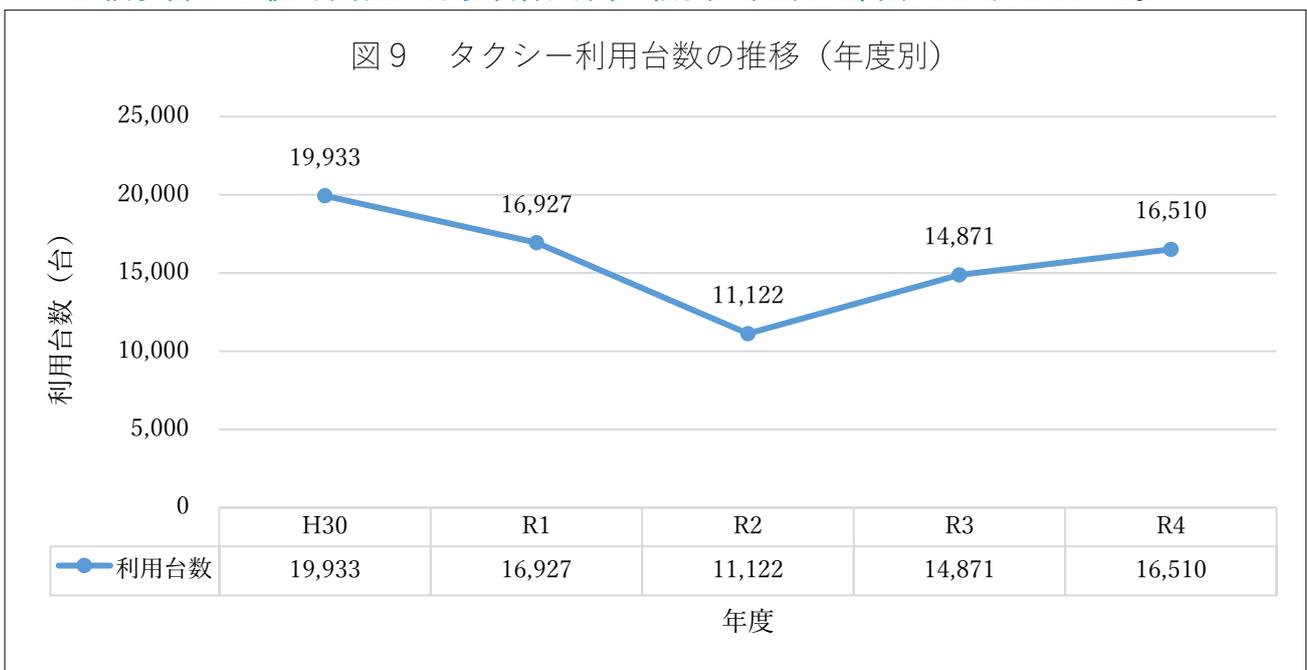
■鉄道・バスでは難しい少量の移動需要に対応

鉄道やバスでは運行できない箇所まで、きめ細かなサービスを提供することが可能である。知多交通圏を営業エリアにするタクシー会社は6社。そのうち、町内 JR 駅に待合所があるのは3社である（安全タクシー(株)、名鉄知多タクシー(株)、大興タクシー(株)）。

平成30年度から令和4年度までのタクシー事業者（安全タクシー(株)、大興タクシー(株)、名鉄知多タクシー(株)）の利用台数の計の年度別の推移は図9のとおりである。なお、令和元年度から令和4年度までの利用台数の計の月別の推移は図10のとおりである。

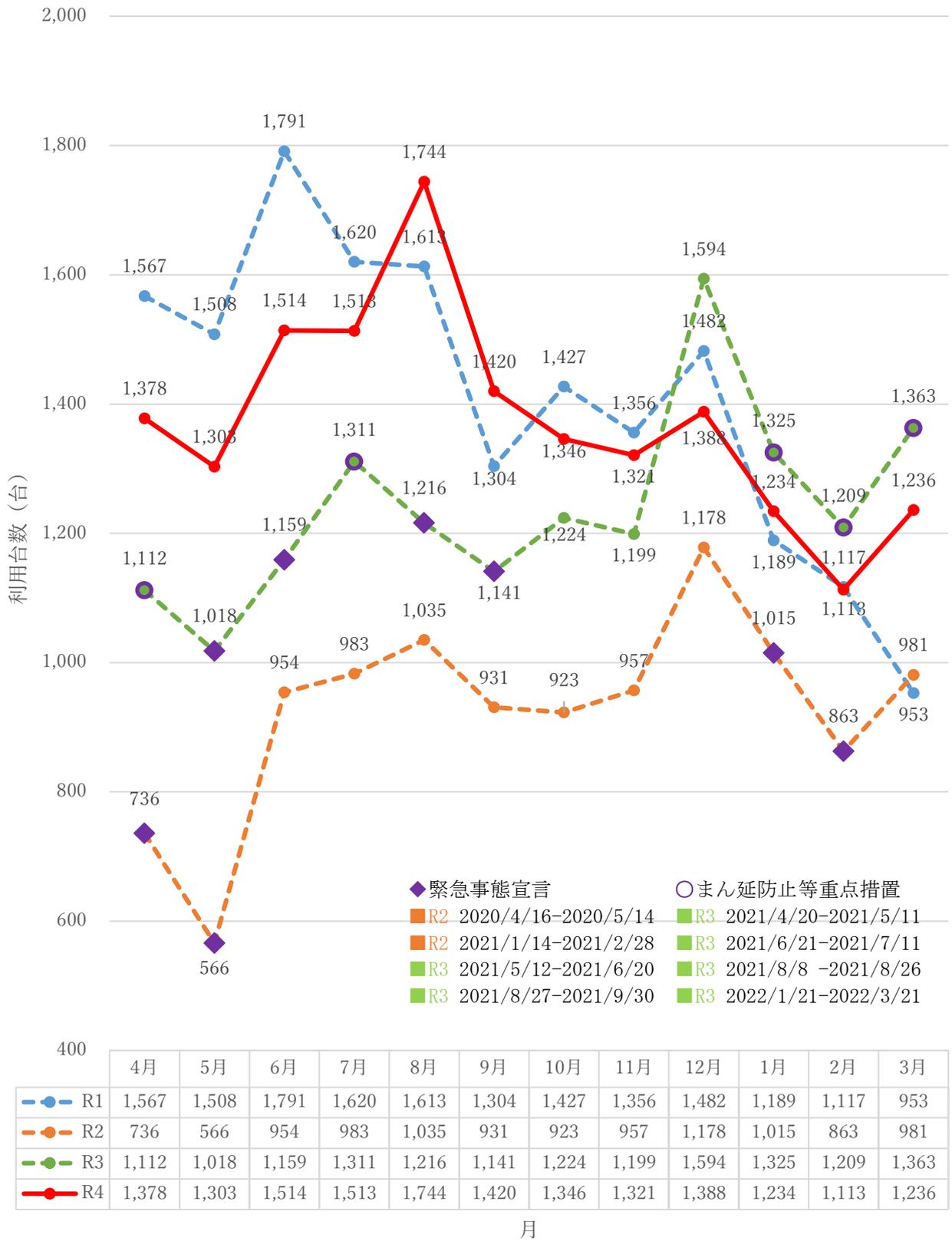
- ① 図9から、令和4年度の利用台数は16,510台、コロナ禍以前の平成30年度の利用台数は19,933台であることが分かる。
- ② 図9から、令和4年度と平成30年度の利用台数とで比較すると3,423台の減（18%減）となっていることが分かる。

この利用台数の減少は、コロナ禍以前から続いている乗務員不足による稼働率の低下やコロナ禍以降から続く出張・深夜営業時間の需要の低下が原因だと考えられる。



※利用台数は東浦町発の車両のみを集計している。

図10 タクシー利用台数の推移（月別）



※利用台数は東浦町発の車両のみを集計している。

7 まとめ

町運行バス「う・ら・ら」や鉄道等の公共交通の利用者数の推移をまとめたものが表1である。

表1から、令和4年度とコロナ禍以前の平成30年度の利用者数を比較した場合、最も減少割合が最も小さいのが町運行バス「う・ら・ら」の5%減、最も大きいのが知多バスの45%減であった。

コロナ禍の影響を受けて、生活様式が変化し、移動需要が減少しているためか、公共交通の利用者数は依然としてコロナ禍以前の数値を下回っている。今後も利用者数の推移を注意深く分析するとともに、公共交通の乗り方教室等の周知事業、回数券の共通利用等の利便性を向上させる施策、外出プランの提案などおでかけの楽しさを再発見していただけるような企画を今後も検討・実施し、公共交通の利用促進に努めていきたい。

表1 公共交通の利用者数・利用台数の推移

		利用者数・利用台数（年度別）					コロナ禍以前との比較		前年度比	
		H30	R1	R2	R3	R4	R4-H30	R4/H30	R4-R3	R4/R3
JR 武豊線	尾張森岡駅	227,044	235,339	197,154	199,574	212,704	△ 14,340	93%	13,130	106%
	緒川駅	597,063	693,989	566,900	582,692	604,330	7,267	101%	21,638	103%
	石浜駅	452,914	453,298	371,773	389,375	418,850	△ 34,064	92%	29,475	107%
	東浦駅	686,571	694,238	568,192	576,142	584,821	△ 101,750	85%	8,679	101%
	計	1,963,592	2,076,864	1,704,019	1,747,783	1,820,705	△ 142,887	92%	72,922	104%
知多 バス	大府線	204,644	185,828	102,487	123,761	154,093	△ 50,551	75%	30,332	124%
	東ヶ丘団地線	47,198	45,064	31,722	28,582	31,783	△ 15,415	67%	3,201	111%
	刈谷中部空港線	99,710	98,383	1,775	2,399	10,362	△ 89,348	10%	7,963	431%
	計	351,552	329,275	135,984	154,742	196,238	△ 155,314	55%	41,496	126%
タクシー		19,933	16,927	11,122	14,871	16,510	△ 3,423	82%	1,639	111%
う・ ら・ ら	長寿線	42,892	42,655	33,845	42,345	49,123	6,231	114%	6,778	116%
	刈谷線	20,962	24,938	22,124	25,514	29,405	8,443	140%	3,891	115%
	全路線	258,881	240,255	179,539	222,272	247,412	△ 11,469	95%	25,140	111%

※JR武豊線の単位は乗車人数（人）、タクシーの単位は利用台数（台）、その他は利用者数（人）である。